

北海道標茶高等学校 キャリア教育の全体計画

(1) 本校が重視する生徒の資質・能力

- ア 系列事業と社会連携による命の尊厳と共生意識
- イ 自ら課題を見つけ、協働の中で解決する意欲や、技能、表現力
- ウ 相手意識、目的意識の伴ったコミュニケーション能力と支え合う力

(2) 資質・能力を身に付けさせる具体的な方策

- ア 「農業と環境」を基盤とした各教科・科目による3年間を見通して身に付ける資質・能力の明示
- イ 3年間を見通したキャリア科目における確実な習得

| キャリア科目<資質能力> | 学習内容 | 主な学習単元 |
|--|---|---|
| 産業社会と人間 <自己理解・自己管理能力> 1年次2単位 | 望ましい自己実現に結び付けられるよう、社会の仕組みや働き方・学び方について知り、自己理解と併せて、生き方について考察する。また、進路を実現するための科目選択について考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己を理解する ・職業、上級学校を知る ・インタビュー研修 ・発表技術の研磨 ・進路と科目選択 ・基礎的・汎用的能力の理解 |
| 自己探究 <人間関係形成・社会形成能力> 「総合的な学習の時間」 2年次1単位 | 自己理解を一層深め、在り方、生き方について考察し、インターンシップを通して望ましい勤労観、職業観を醸成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己、他者を理解する ・マナー、接遇を身につける ・全員5日間のインターンシップ ・進路探究と科目選択 ・3年次課題研究テーマ設定 |
| 課題研究 <課題対応能力> 「総合的な学習の時間」 3年次3単位 | 自ら課題を見つけ、主体的、協働的なアクティブ・ラーニングによる研究活動を通して、これまで身につけてきた基礎的・汎用的能力を総合的に活用するとともに、3年間の集大成として評価する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題を設定し解決を図る実践 ・主体的、協働的学習の重視 ・地域への成果発表 ・各系列で目指す生徒像の総合評価 ・希望者インターンシップ |

ウ 地域おこしやボランティア活動等の地域行事への提案型参加、生徒による出前授業、ボランティアリーダー、地域の自然体験学習会の企画運営など主体的な取組による質の高いコミュニケーション能力の習得

| 文化理解系列 | 地域環境系列 | 酪農・食品系列 |
|--|--------|---------|
| 地域（地元・北海道）の特色を生かしたプロジェクト活動 | | |
| 地域（地元・北海道）の特色を生かした各系列主幹行事・事業 関係機関、関係団体等との連携事業 校内事業 | | |
| 系列横断的取組 | | |



※詳細は系列運営計画を参照のこと

(3) キャリア教育の重点<基礎的・汎用的能力>

| | |
|-----------------|----------------|
| ア 人間関係形成・社会形成能力 | イ 自己理解・自己管理能力 |
| ウ 課題対応能力 | エ キャリアプランニング能力 |

(4) 本校のキャリア教育推進の具体的方策…<基礎的・汎用的能力との対応>

- ア SGEやQ・U検査、ほっとの活用による生徒理解と生徒の自己理解推進、宿泊研修での人間関係づくり体験、ピア・サポートの導入、プロジェクト活動や課題研究における協働体験による人間関係形成能力の向上
- イ 販売実習や5日間の全員インターンシップ、地域事業への参加等の他者と関わる体験による責任感や達成感、自己有用感の育成、社会体験や失敗体験等による自己理解の深化と自身のコントロール力の向上
- ウ 3年間を見通したキャリア科目による課題設定、課題解決のための計画的なスキルアップ、各教科・科目での言語活動、アクティブ・ラーニングの積極的導入（授業改善）による課題解決力の向上、さまざまな体験的な学習を通じて「知識」を「活用できる知恵（確かな学力）」として定着
- エ 3年間を見通したキャリア科目による在り方、生き方の考察とプランニングスキルの習得並びに地域等との関わりにより育まれる自己有用感を基本とした生涯にわたる望ましい自己実現に係る目標設定意欲の醸成